

県土整備部次世代交通課指定管理候補者の選定結果について

1 申請団体名及び選定結果

徳島県立航空旅客取扱施設

申請団体名	選定結果
徳島空港ビル株式会社	指定管理候補者

（選定理由）

候補者は、空港法に定める徳島飛行場の指定空港機能施設事業者であり、当該施設の管理運営を行うことができる唯一の団体である。

当該施設は、候補者が所有する既存ターミナルビルを増築する形で整備しており、これまでも候補者が一体的に効率的・効果的な管理運営を行っていることから、今後もコストの削減等により効率的な管理運営が期待できる。

また、事業計画においても、長年にわたり培われた空港運営のノウハウを活かし、航空法等関連法規を遵守した管理運営や関連事業者と連携した利用促進事業の展開はもちろんのこと、新型コロナウイルスにより顕在化した感染防止対策、事故・災害に備えた危機管理対応など、安全管理上適切な対策・体制が講じられるとともに、SDGs（持続可能な開発目標）を見据えた取組みもなされるなど、空港利用者の安全確保はもとより利便性、快適性を高める方針が打ち出されている。

以上のことから、選定基準に基づき総合的に評価した結果、指定管理候補者として適格な団体であると認められる

2 県土整備部指定管理候補者選定委員会委員名簿

役 職	氏 名
徳島大学大学院教授	長尾 文明
本林家具（株）代表取締役社長	井上佐知子
（公社）徳島県労働者福祉協議会常務理事	兼松 文子
税理士	大石 真紀
徳島県県土整備部副部長	木下 修一

3 選定の経緯

令和3年 8月 5日	第1回選定委員会（選定要項の承認、 審査基準等の決定）
8月13日	選定要項配布
9月24日	申請書類受領
10月14日～20日	各選定委員が申請書類を事前分析
10月21日	第2回選定委員会（書類審査、面接審査、 指定管理候補者の選定）

4 選定委員会における選定結果

施設名	申請団体名	総合得点
徳島県立航空旅客取扱施設	徳島空港ビル株式会社	適 (総合評価)

5 指定管理候補者の主な提案内容

施設名：徳島県立航空旅客取扱施設

区分	徳島空港ビル株式会社の主な提案内容
県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ① 指定空港機能施設事業者として長年培ってきた管理運営の経験やノウハウを活かし、空港利用者の安全の確保、利便性や快適性の向上とともに、既存ターミナルビルとの一体的な管理運営により、管理コストの削減を図る。 ② 施設の監視や点検を怠ることなく、機器等の不具合の未然防止や危険要因の排除に取り組む。 ③ 利用者から寄せられた意見や情報を関係各所と共有し、内容の評価、検討結果をサービスに反映させ、利用者の満足度向上に努める。 ④ 自治体、航空関連事業者、商工団体等と連携した利用促進事業や、ホームページ、SNSを活用した情報発信、LED照明、省エネ機器導入によるエネルギー消費量削減などのSDGsの取組みを実施する。 ⑤ 「個人情報保護要綱」や「危機管理規程」等に基づき、個人情報の取扱いや危機管理対応を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策にも適切に対応する。
効率的な管理運営 (経済性の追求)	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用料金収入で管理運営を行う。 ② 新型コロナウイルスの影響は大きいものの、一体的な管理運営による取組みを強化することで、更なる管理運営経費の削減に努める。
安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況	<ul style="list-style-type: none"> ① これまで50年を超える管理実績があり、国土交通省及び航空会社、自治体等関係機関との連携体制を構築し、安全確保はもとより、空港の利用促進事業を積極的に展開している。 ② 空港の運営に必要な専門知識や技術を習得するため、各種研修会に参加し、質の高いサービスが提供できるように努めている。
その他、地域との連携や地域貢献度など	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境負荷を低減させるため、使用電力量の抑制によるCO2削減や、節水による水資源の保護、ごみの分別によるリサイクル資源の活用等に積極的に取り組む。 ② 持続可能なまちづくりに資する交流人口の拡大や、県内の企業、観光産業等の発展に寄与するため、地元雇用及び地元企業への業務委託に積極的に取り組む。